

令和6年度は、このように
お金が使われました！

歳出を町民一人あたりでみると
総額 84 万 4,504 円 (前年比 +71,685 円)

※町民1人あたりの金額は、令和7年3月31日現在の
町の住民基本台帳人口1万2,136人で割ったものです。

民生費 使われたお金…26億8,216万円

高齢者に対する住民主体の通いの場への移動支援の実施、難聴の早期発見・早期対応の推進に取り組みました。また全年齢の保育料完全無償化および副食費の無償化を継続して実施し、子育て世帯への支援に取り組みました。そのほか、第2期健康と福祉の里構想に基づき、健康福祉センターを再整備するとともに、デジタルを駆使し、ソフト面からも一体的な推進を図っていくため調査を実施しました。



総務費 使われたお金…15億6,717万円

各分野における担い手不足に対応するため、マルチワーカーやU・Iターン希望移住者の受け皿となる地域人材ベースキャンプの設立・運営を支援しました。また、地域づくりのさらなる活性化と地域課題解決を図るため、集落支援員を増員し特色ある地域活動を行いました。そのほか、住民サービスの向上に向け、住民票の写し等のコンビニ交付、町が保有する地図情報のインターネット上での公開など、行政のデジタル化に取り組みました。



公債費 使われたお金…13億5,105万円

建設事業などを行うために借り入れたお金の返済を行いました。

土木費 使われたお金…10億6,803万円

地域の安全確保や道路災害の防止対策として、町道危険箇所改良工事を行いました。また、定住促進・転出抑制対策として、子育て・若者世帯の住環境の整備や住宅取得等に対する支援を行いました。そのほか、空き家の利活用に対する支援や危険空家等の解体に対する助成に取り組みました。

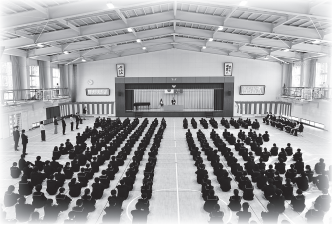
衛生費 使われたお金…9億9,555万円

母子保健事業として、新たに妊娠確定までの産婦人科受診料支援、産後1カ月健診費用助成等を実施しました。そのほか、地球温暖化防止の取組として、太陽光発電や木質バイオマス燃焼機器等の導入助成や断熱性能の高い住宅新築への支援を継続実施しました。



教育費 使われたお金…10億6,592万円

中学校体育館の床のグレードアップや断熱機能の向上等の改修、空調設備の導入を実施しました。また、荒砥高校支援として、高校魅力化コーディネーターの配置により小規模校ならではの魅力づくりを進めるとともに、新たに運転免許証取得に対する支援を実施しました。



農林水産業費 使われたお金…6億6,537万円

6次産業化の拠点となる施設整備に向け、施設の機能や設置する加工機器などの検討を行いました。また、新たに西横田尻地区水路改修事業に着手し、改修工事を実施しました。そのほか、有害鳥獣の駆除や新規狩猟者の免許取得支援、電気柵導入支援に加え、新たに不要果樹伐採支援を行いました。

消防費 使われたお金…4億4,865万円

地域防災マネージャーによる出前講座等を実施し、防災意識の向上や、地域防災力の強化に取り組みました。また、消防団ポンプ自動車の更新を行い消防力の向上を図りました。



商工費 使われたお金…2億4,076万円

飲食店の利用料金割引助成により消費需要の喚起を行うとともに、生活支援として地域応援券事業を行うなど物価高対策に取り組みました。また、ふるさと森林公園について、再整備に向けた基本構想と、その具現化に向けた基本設計を策定しました。



その他 使われたお金…1億6,425万円

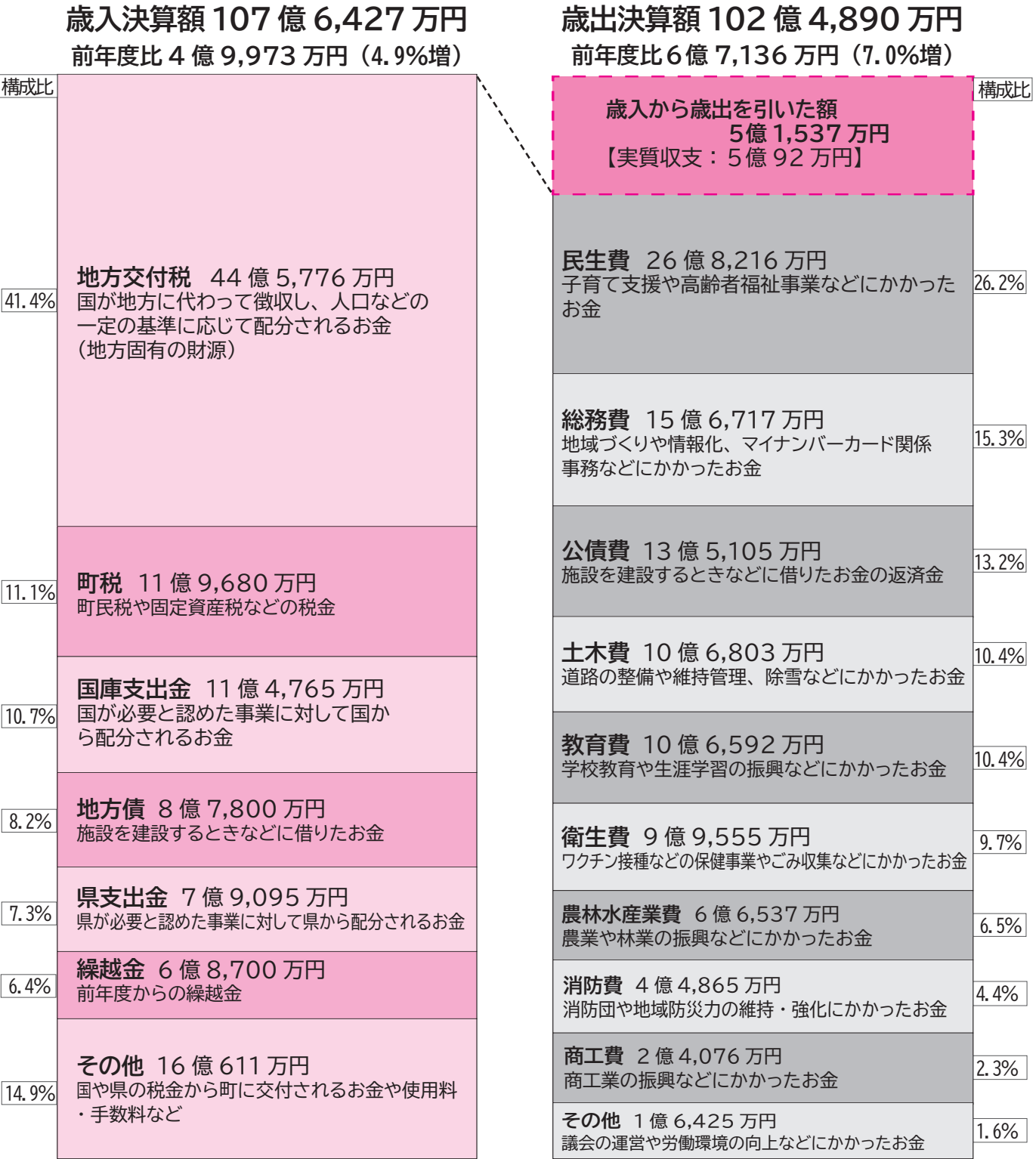
令和6年7月豪雨災害の復旧事業や議会運営に必要な経費等を支出しました。

白鷹町の決算概要報告

一般会計 歳入 107 億 6,427 万円 歳出 102 億 4,890 万円

一般会計の歳入決算額（税金など町へ入ってきたお金）は107億6,427万円で前年度に比べ、4億9,973万円（4.9%）増、歳出決算額（町が使ったお金）は102億4,890万円で前年度に比べ、6億7,136万円（7.0%）増となりました。歳入歳出差引は5億1,537万円、翌年度へ繰り越した事業に充てるべき財源を控除した実質収支は5億92万円となりました。

グラフで見る一般会計（歳入・歳出）



※地方財政状況調査による区分により集計しています。
※項目ごとに四捨五入しているため合計などが一致しないところがあります。